



カケハシ・プロジェクト（カナダ） カナダ大学生招へいの記録

1. プログラム概要

【目的】カナダオンタリオ州のウォータールー大学とアルバータ州のアルバータ大学の大学生が来日し、ホームステイや学校交流、視察等を通じて日本文化や社会、歴史について理解を深めるとともに、参加者同士が交流を深め、ネットワーク強化を図り、日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを主目的として実施しました。

【参加者】カナダオンタリオ州とアルバータ州の大学生 計 16 名
内訳：ウォータールー大学 8 名、アルバータ大学 8 名

【訪問地】東京都、愛知県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

2 月 14 日（水曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

2 月 18 日（日曜日） 成田国際空港より入国
2 月 19 日（月曜日） 【視察】東京大学総合研究博物館
【視察】チームラボプラネッツ TOKYO DMM 豊洲
【視察】浅草
2 月 20 日（火曜日） 【視察】増上寺
【視察】東京タワー
【視察】原宿（日本のポップカルチャーの視察）
東京都から愛知県へ移動
2 月 21 日（水曜日） 【視察】トヨタ産業技術記念館
【学校交流・日本文化体験】中京大学、茶道体験
2 月 22 日（木曜日） 【視察】名古屋城
【ホストファミリー対面式】
2 月 23 日（金曜日） 【ホームステイ・ホストファミリー歓送会】名古屋市
2 月 24 日（土曜日） 愛知県から東京都に移動
【視察】パナソニックセンター東京
【ワークショップ】報告会準備（プログラムの学びや気づきのまとめ、

帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

2月25日（日曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

【視察】お台場

成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2月19日【視察】東京大学総合研究博物館



2月19日 昼食の様子



2月19日【視察】チームラボプラネッツ TOKYO
DMM 豊洲



2月20日【視察】増上寺



2月21日【視察】トヨタ産業技術記念館



2月21日【学校交流・日本文化体験】中京大学



2月21日【学校交流・日本文化体験】
中京大学の学生と茶道体験



2月2日【視察】名古屋城



2月22～23日【ホームステイ】名古屋市



2月23日【ホストファミリー歓送会】



2月24日【視察】パナソニックセンター東京



2月25日【報告会】記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

最も印象に残ったのは、ホームステイとパナソニックセンター東京の視察でした。ホームステイでは日本の文化に沢山触れ、日本人がどのように生活しているかを体験しました。ホストファミリーから多くのことを学び、書道や日本のお菓子、お寺の訪問など、忘れられない思い出ができました。カナダの文化にも興味を持っていただき驚きました。パナソニックセンター東京の視察からは、瞑想や福祉に関連する製品を作っていることに興味を持ちました。家庭や職場でこの技術がどのように活用されているのか知りたいと思いました。パナソニックについてもっと調べて、もっと勉強したいと思います。

◆ 大学生

今回のプログラムで日本の豊かな文化や歴史と同じくらい印象に残ったのは、日本の日常生活で使われている技術です。トイレやレストランのロボットなど日本ははるかに進歩していて、使い勝手がよく、日常生活をより快適に過ごすことができます。私は大学で電気化学とパワーエレクトロニクスを専攻しているので、パナソニックが開発中の水素発電は興味深く、もっと学びたいと思いました。

◆ 大学生

最も印象的だったプログラムは、ホームステイでした。伝統的かつ近代的な日本の生活を深く理解する機会を得ました。これは今回の機会がなければ絶対に経験できないことでした。ホストファミリーは大変親切で温かく迎えてくれました。お互いの国や文化についても学び合うことができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

我が家では、日本の伝統文化を肌で感じてほしい！をテーマに受け入れました。1日目は国府宮はだか祭に行き、2日目は瀬戸蔵ミュージアムを見学して、（陶のまち瀬戸の）お雛めぐりをしました。はだか祭では初め、はだかの男性達を見てびっくりしていましたが、気さくに男性達が訪日団に話しかけてくれたので和やかな雰囲気で見物する事ができました。私は日本で生まれ育ち、日本人の父と母がいますが、訪日団のルーツを聞くと、カナダで生まれ育ち、ベルギー人の父とウクライナ人の母がいるとの事で、背景が異なる人々を知り多様性を感じました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 lunch: our lunch menu was called "katsujou" and it's basically in a katsudon in a special box, the box is called a jai hence the name. katsujou not gonna lie, i didn't think i was gonna eat much of this because i ate a pretty sizeable breakfast, but this was literally soooooo good, like the egg was really light and fluffy and just melted in your mouth, and the tonkatsu was crispy and flavourful!! 11/10, wish i could eat again, finished the entire thing, no crumbs, but i didn't eat the salad because of the carrots lol. saw more hina dolls, which are the dolls on the left, people display hina dolls in order to celebrate the healthy growth of girls!	 Words can't describe what a wonderful experience this home stay was! I'm so grateful to the Kobayashi family for being so welcoming and helping us create memories I will never forget!!
2024 年 2 月 21 日（Instagram） ランチメニューはかつ重で、かつ丼が、お重という特別な箱に入っているの、かつ重と呼ばれています。朝食をたくさん食べていたので全	2024 年 2 月 22 日（Instagram） 今回のホームステイがどれほど素晴らしかったかは、言葉では表現できません！ ホストファミリーは大変歓迎してくれ、忘れら

部は食べられなかったですが、とても美味しかったです。卵が軽くてふわふわで口の中で溶けて、とんかつはサクサクしておいしい！！もう一度食べることができたら、一粒残らず全部食べたいです！ 雛人形は、女の子が健やかに育つよう願って飾るものです。	れない思い出を作ってくれました！！！！
--	----------------------------

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、愛知県 全2グループが発表

	
【訪日中の学び】 食、技術、輸送、歴史、社会、仕事、学生生活、ファッションとポップカルチャーなどの観点からの学びがありました。日本人は勤勉で真面目に仕事に向き合い、顧客の満足度を高め品質を向上することに真摯に取り組んでいます。ホテルの従業員や店員の方が手厚く接客する姿に現れています。 【展望】 それぞれの専門分野を活用しながら、日本で働いたり学んだりする方法を見つけます。 【アクション・プラン】 帰国後3か月は、交流をした大学生やホストファミリーと連絡を取り合い、SNSに経験を載せるなどします。また、3月5日に行われる学校の交流の日を手伝います。長期計画としては、日本語をもっと勉強します。日本に行く計画を立て、日本で勉強する、または働きたいです。日本とカナダの関係維持に協力します。	【訪日中の学び】 新しいものと伝統的なものが融合していることを学びました。また、茶道を体験して、茶道が日本文化においていかに重要であるかを学びました。 【展望】 今回の経験から、日本語能力試験のN1を目指すこと、日本で働くこと、日本語通訳になること、自分の専門である芸術に応用すること、自分とは異なる物事や文化を受け入れることなど、将来の明確な目標ができました。 【アクション・プラン】 学校新聞や高円宮日本教育・研究センターで今回の経験を紹介します。プログラムで得た日本への理解を伝えることで、多くの人に日本での勉強や仕事、観光に興味をもってもらえると思います。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）